

管理会計		大崎 美泉	
-------------	--	--------------	--

配当年次	2 年次	配当学期	1 学期	科目区分	アドバンスト
単位数	2 単位	必修・選択	選 択	授業形態	講 義

授業で得られる「学位授与方針における能力（学生が修了時に身に付ける能力）」、到達目標
/ Competence Defined in “Diploma Policy” (Competence Students Attain by Course Completion), Specific Targets in Focus

学位授与方針における能力		到達目標	
知識・理解	理論知識	◎	管理会計の理論の理解に必要な専門知識を修得する。
	実践知識	◎	管理会計の実践に必要な専門知識を習得する。
技能	分析解決技能	○	管理会計の諸問題を解決するための分析手法を習得する。
	実務技能		
	新規事業技能		
態度	倫理観態度	△	管理会計に関わる諸問題に関心を持ち続け、市民としての社会的責任感と倫理観を身につける。
	企業変革態度		
	地域リーダー態度		
	国際協調態度		

※ ◎：強く関連 ○：関連 △：やや関連

※ 2013年度以降入学生が対象です。

管理会計

授業の概要

管理会計とは、企業の経営者や経営管理者がマネジメントを展開するために必要な情報を提供する会計で、本授業はこの管理会計の理論、技法について学んでいきます。まず始めに、管理会計の特質、意義、体系について学習し、管理会計の全体像を把握します。次に、経営戦略のための管理会計という観点から、経営戦略の策定における管理会計の役割について、さらに、マネジメント・プランニング・アンド・コントロールのための会計という観点から、短期利益計画、損益分岐点分析、予算管理、事業部制会計に関する理論と技法について学習します。最後に、オペレーショナル・コントロールのための会計という観点から、生産管理その他の論点を理解するとともに、管理会計の新しい課題や企業以外の組織体への管理会計の適用についても議論していきます。

本講義の到達目標は、以下の通りです。

- ①専門分野の知識・理解：管理会計の知識を理解したうえで、実務における分析方法を修得する。
- ②課題発見・解決能力：企業の経営管理上の問題点を分析し、課題解決のための提案を行うことができる。
- ③生涯学習力：企業に止まらず、他の組織体のマネジメントにも知識を援用することができる。

教科書

特に使用せず、必要な資料を適宜配布します。

参考書

上総康行『管理会計』（新世社、2007）
櫻井通晴『管理会計（第5版）』（同文館出版、2012）
西村明、大下丈平『ベーシック管理会計』（中央経済社、2013）

授業計画・内容

1. 授業の方針、内容についての説明
2. 経営管理と会計、財務会計と管理会計 【会計の目的と機能】【PDCA】
3. 管理会計の発展系譜と管理会計の体系 【経営管理組織】【計画と統制】
4. 経営戦略の意義と管理会計の役立ち 【経営戦略論の展開】【環境分析と自社分析】
5. 競争戦略とPPM 【利益目標】【事業の魅力度】
6. 原価企画 【製造環境の変化】【原価企画のステップ】
7. 投資の経済計算 【回収期間法】【現在価値法】
8. 価格決定と価格戦略 【原価補償】【戦略的価格設定】
9. 短期利益計画と損益分岐点分析 【総資本利益率】【自製か購入か】
10. 総合管理としての予算管理 【責任会計システム】【予算管理の基本機能】

- 1 1. 事業部制会計の概要 【分権化組織】【事業部の業績評価】
- 1 2. 内部振替価格と共通費の配賦問題 【原価基準と市価基準】【本社費】
- 1 3. 課業管理のための管理会計 【J I T】【品質管理】
- 1 4. 管理会計の新課題 【B S C】【会計情報システム】
- 1 5. 企業以外の組織体への管理会計の展開、授業のまとめ 【病院管理会計】

成績評価の方法 日常の授業への取り組み(30%)、発表等の授業への貢献(20%)、レポート(50%)を勘案して、総合的に評価します。

事前・事後学習の内容 企業の実例を参考にした復習を行ってください。

履修上の注意 企業に関する新聞記事等に注意しておいてください。
「原価計算」や「経営学」に関する科目を履修している場合は、本講義の理解がより深いものとなります。

担当者からのメッセージ

キーワード 経営戦略、マネジメント・プランニング・アンド・コントロール、コスト・マネジメント、病院マネジメント、M I S